

テングザルの赤ちゃん誕生!!!

よこはま動物園ズーラシアでは、平成 31 年 1 月 15 日 (火) にテングザルの赤ちゃん (オス) が誕生しました。当園では、平成 28 年 5 月以来の赤ちゃん誕生です。

平成 30 年からのゲンキ (オス) とキナンティー (メス) のペアリングによる、初めての赤ちゃん誕生となります。

一般公開は、春を予定しています。決定しましたらホームページ等でお知らせします。公開の際は、エミ (3 歳、メス)、ジャスミン (2 歳、メス) と一緒に、元気に遊び、育っていく姿をご覧ください。

赤ちゃんの健やかな成長を温かく見守ってください。



母親と赤ちゃん (生後 5 日目)

赤ちゃんへの取材について

※赤ちゃんへの直接の取材はできませんが、掲載用の写真等を提供します。



指定管理者: (公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

よこはま動物園

副園長

渡辺 武志

Tel 045-959-1298

【参考資料】

■テングザルについて

和名	テングザル
英名	Proboscis Monkey
学名	<i>Nasalis larvatus</i>
分類	霊長目 オナガザル科
分布	ボルネオ島沿岸部
生態	インドネシア、マレーシアに属するボルネオ島だけに生息するオナガザルの仲間。主な生息地は海沿いのマングローブ林や川沿いの湿地林で、一部は川沿いのかなりの上流部（標高 245m）にも生息する。主な餌は木の葉で、特に若葉を好む。おとなのオスは大きな鼻が特徴で、食事の時には邪魔になるときもあり、時々片手で鼻を押し上げながら食べ物を口に運ぶことがある。何のために大きいのかは正確には不明だが、メスに対するセックスアピール、または大きな声を出すための共鳴器とも言われている。
ワシントン条約 (CITES)	附属書 I 絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	EN (絶滅危惧 I B 類) 近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
飼育状況	国内：よこはま動物園のみ 5頭 (オス2頭、メス3頭) ※今回生まれた子を含む 海外：スラバヤ動植物園 (インドネシア)、タマン・サファリ・インドネシア、シンガポール動物園など ※平成 31 年 1 月 15 日 現在

■よこはま動物園の飼育個体について

愛称	性別	年齢	特記事項 (血縁、繁殖歴など)
ゲンキ	オス	15 歳	2003 年 4 月 11 日生まれ、今回の繁殖個体の父親
キナンティー	メス	14 歳	2004 年 2 月 17 日生まれ、今回の繁殖個体の母親
エミ	メス	3 歳	2015 年 12 月 22 日生まれ、ジャカとキナンティーの子
ジャスミン	メス	2 歳	2016 年 5 月 11 日生まれ、ゲンキとアプルの子
未定	オス	0 歳	2019 年 1 月 15 日生まれ、今回の繁殖個体。 ゲンキとキナンティーの子

(年齢は平成 31 年 1 月 15 日現在)

■よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入園料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料
毎週土曜日は高校生以下無料 (要学生証等)
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18 歳以上 2,000 円
- ◆開園時間：9:30~16:30 (入園は 16:00 まで)
- ◆休園日：毎週火曜日 (祝日の場合は開園し、翌日休園) ※3/20~5/6まで休園なし
- ◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 1 時間
- ◆URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆住所：横浜市旭区上白根町 1175-1
- ◆問合せ先：045-959-1000